

第12回技術者倫理シンポジウムの拠点開催

はじめに

倫理委員会では、令和3年5月19日(水)に日本技術士会倫理委員会主催の第12回技術者倫理シンポジウムの遠隔開催(出席者7名)をカタオカビル貸会議室5階5B会議室(会議室定員20名)にて開催いたしましたので、報告いたします。

1. 技術者倫理シンポジウムの概要

令和3年3月下旬に北海道本部経由で統括本部倫理委員会より拠点開催を希望するか意向確認があったことから、幹事内で検討した結果、拠点開催(遠隔開催)を実施する旨を回答し、拠点開催の準備を行うこととしました。以下が開催の概要です。

- テーマ：安全と技術者倫理～最後の決め手は人間力～
- 開催日時：令和3年5月19日(水)13時～17時
- 場 所：ウェブ開催
- 講演1：「福島第一原子力発電所事故とヒューマン・ファクター」～ヒューマン・エラーからヒューマン・ファクターに着目した安全へ～
吉澤厚文氏(長岡技術科学大学 客員教授、東京電力ホールディングス(株)フェロー)
- 講演2：「事前広域避難発案および実現化に向けた実践」～現場で求められる、マニュアルに頼らない技術者の判断力～
土屋信行氏(リバーフロント研究所技術審議役)
- 講演3：「東日本大震災・下水道復旧支援」～被災直後に現地支援リーダーとして指揮した経験と教訓～
加藤裕之氏(東京大学下水道システムイノベーション研究室 特任准教授)
- パネルディスカッション
- 質疑応答

2. 技術者倫理シンポジウム(拠点開催)の開催

技術者倫理シンポジウムの内容ですが、福島第一原発での事故、昨今の大規模水害、東日本大震災など、これまでに想定された以上の甚大な被害が近年多く発生しており、今まで当たり前だと思われていた考えや概念が崩された時に決められたルール(規則・手順)の中だけで行動するだけでは公衆の安全を確保することが困難であることがある。このような場合、最終的には技術者の「倫理的な」判断をもって、困難な現場対応をしなければならない状況が起こっている。当時現場のリーダーであった各発表者が、技術者としてどのように判断・主導して公衆の安全を確保する取り組みを行ったかの事例を基に、技術者の倫理的判断はどうあるべきかについて議論が行われました。いずれの講演も現場での緊張感が伝わってくる内容で、議論についても非常に参考になる内容であったと感じました。



技術者倫理シンポジウム(遠隔開催)の実施状況

おわりに

コロナ禍で定例WGが開催出来ていない状況ですが、オンラインでの定例会開催を検討しています。倫理委員会のメンバーとの意見交換や交流を通じて、技術者倫理についてさらに深く考えてみませんか？詳しくは当委員会HPをご確認ください。